ジレニア副作用対応体制の確認

ジレニア副作用対応体制の確認

- ジレニアの初回投与時および2週間を超える休薬後の再投与時は、徐脈性不整脈に関連した徴候または症状を確認するため、循環器を専門とする医師と連携するなど、適切な処置が行える管理下で投与を開始し、初回投与後少なくとも6時間後までは1時間ごとにバイタルサインの観察を行い、初回投与前および初回投与6時間後には12誘導心電図を測定し、6時間以降も継続した観察（初回投与後24時間は心拍数および血圧の測定に加え、連続的に心電図をモニター）を行えること。
- 徐脈性不整脈や感染症などの重篤な副作用発現時には、緊急の対応（処置）を行うことが可能であること。
- 黄斑浮腫等の眼疾患発現時には、眼科医と連携すること。

【警告】の内容の理解
【効能・効果】、【用法・用量】の確認

弊社製品についてのお問い合わせ

お問い合わせ

Source URL: *https://www.pro.novartis.com/jp-ja/products/gilenya/point/before_02*